一般社団法人日本医療薬学会
2023 年度第 2 回定例理事会 議事録

一．開催日時： 2023 年 6 月 6 日（火） 13 時 00 分 ～ 16 時 30 分

二．開催場所： ハイブリッド開催（事務局会議室＋Zoom を利用したウェブ会議）

三．出席者
会 頭： 山本 康次郎
副会頭： 寺田 智祐
理 事： 石澤 啓介、宮﨑 長一郎
以下の出席者は、Zoom を利用したウェブシステムにより参加した。
副会頭： 石井 伊都子、百瀬 泰行
理 事： 池田 龍二、伊藤 清美、齋藤 秀之、佐野 俊治、関根 祐子、田﨑 嘉一、
富岡 佳久、豊見 敦、中村 敏明、花輪 剛久、濱浦 健司、村木 優一、
矢野 育子
監 事： 奥田 真弘、安原 眞人
顧 問： 武田 泰生、和田 一夫
年会長： 三浦 昌朋（第 33 回年会）、本間 真人（第 34 回年会）
陪席者
事務局： 星 隆弘、姫嶋 直子、針生 裕子、田中 結寿
欠席者
理 事： 佐藤 淳子、
監 事： 望月 眞弓、
顧 問： 山本 信夫、五十嵐 邦彦

四．議長： 山本 康次郎

五．会議の成立
定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 19 名の出席があり、定款第 38 条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の概要及びその結果
１．2023 年度第 1 回定例理事会議事録の確認
議長より、2023 年 3 月 2 日に開催された 2023 年度第 1 回定例理事会議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までに指摘するよう要請があった。

２．第 15 回定時社員総会議事録の確認
議長より、2023 年 3 月 18 日に開催された第 15 回定時社員総会議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までに指摘するよう要請があった。

３．協議事項
(1) 2023 年度功績賞、振興賞の選考
議長より、はじめに功績賞の授賞資格の確認が行われ、今年度は該当者なしということ

が説明された。続いて、振興賞の授賞資格の確認と授賞候補者なしであることが説明された。

なお、振興賞については、来年以降、理事から広く推薦を募る運用を行うこととなった。

(2) 2023 年度名誉会員候補者の推薦

議長より、名誉会員の推薦資格の確認が行われ、当該資格を充足する４名の推薦候補者が挙げられた。協議の結果、青山隆夫氏、吉光寺敏泰氏、千堂年昭氏、谷川原祐介氏の４名を今年度の名誉会員候補者として第 15 回臨時社員総会に推薦することとした。

(3) 2023 年度各学術関連賞の選考(学会賞、学術賞、奨励賞、Postdoctoral Award、各論文賞)

1) 日本医療薬学会賞

石井副会頭より、学術関連賞選考委員会（及び日本医療薬学会賞等選考小委員会）における選考結果として、今年度の日本医療薬学会賞授賞候補者に 2 名を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の 2 名に日本医療薬学会賞の授与が了承された。

・大谷 壽一　氏　（慶応義塾大学医学部）
・崔 吉道　氏　（金沢大学附属病院）

2) 学術賞

石井副会頭より、学術関連賞選考委員会（及び日本医療薬学会賞等選考小委員会）における選考結果として、今年度の学術賞授賞候補者に 1 名を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の 1 名に学術賞の授与が了承された。

・池末 裕明　氏　（地方独立行政法人神戸市立医療センター中央市民病院）

3) 奨励賞

石井副会頭より、学術関連賞選考委員会（及び日本医療薬学会賞等選考小委員会）における選考結果として、今年度の奨励賞授賞候補者に 3 名を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の 3 名に学術賞の授与が了承された。

・岡田 直人　氏　（山口大学医学部附属病院）
・日笠 真一　氏　（兵庫医科大学病院）
・八木 達也　氏　（浜松医科大学医学部附属病院）

4) Postdoctoral Award

石井副会頭より、学術関連賞選考委員会（及び日本医療薬学会賞等選考小委員会）における選考結果として、今年度の Postdoctoral Award 授賞候補者に 10 名を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の 10 名に Postdoctoral Award の授与が了承された。

・糸原 光太郎　氏　（神戸大学医学部附属病院）
・内田 美月　氏　（名古屋大学医学部附属病院）
・梅村 圭祐　氏　（京都大学医学部附属病院）
・荘司 智和　氏　（山梨大学医学部附属病院）
・鈴木 光路　氏　（浜松医科大学医学部附属病院）
・鈴木 秀隆　氏　（国立がん研究センター東病院）
・鈴木 亮平　氏　（独立行政法人国立病院機構東名古屋病院）
・田代 渉　氏　（大分大学医学部附属病院）

・中澤 孝文　氏　（千葉大学医学部附属病院）
・松金 良祐　氏　（九州大学病院）

5）医療薬学誌論文賞

石井副会頭より、学術関連賞選考委員会（及び日本医療薬学会賞等選考小委員会）における選考結果として、今年度の医療薬学誌論文賞授賞候補論文に 3 編を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の 3 編に医療薬学誌論文賞の授与が了承された。

・論文題目
「免疫チェックポイント阻害薬の有効性および安全性に対する抗菌薬使用の影響」
著者　南島拓矢，肥田裕丈，宮崎雅之，今俊介，千﨑康司，永井拓，山田清文
（医療薬学 Vol.48,No.5,173-193）

・論文題目
「新生児におけるバンコマイシン母集団薬物動態モデル 13 種の比較検討」
著者　大橋隼人，花井雄貴，横尾卓也，植草秀介，松尾和廣，草野歩，坂本真紀，
松本高広　（医療薬学 Vol.48,No.8,319-330）

・論文題目
「病棟常駐薬剤師によるリコンビナント・トロンボモデュリンの適正使用推進と感染症性 DIC 離脱率の改善」
著者　山田峻史，眞鍋貴行，丹保亜希仁，菅谷香緒里，田原克寿，山下恭範，
中馬真幸，田﨑嘉一　（医療薬学 Vol.48,No.11,481-490）

7）JPHCS 誌論文賞

石井副会頭より、学術関連賞選考委員会（及び日本医療薬学会賞等選考小委員会）における選考結果として、今年度の JPHCS 誌論文賞授賞候補論文に 3 編を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の 3 編に JPHCS 誌論文賞の授与が了承された。

・論文題目
「Pharmaceutical intervention for adverse events improves quality of life in patients with cancer undergoing outpatient chemotherapy」
著者　Hironori Fujii, Yukino Ueda, Chiemi Hirose, Koichi Ohata,
Kumiko Sekiya, Mika Kitahora, Shiori Sadaka, Senri Yamamoto,
Daichi Watanabe, Hiroko Kato-Hayashi, Hirotoshi Iihara, Ryo Kobayashi,
Miho Kaburaki, Nobuhisa Matsuhashi, Takao Takahashi, Akitaka Makiyama,
Kazuhiro Yoshida, Hideki Hayashi and Akio Suzuki　(JPHCS 2022 8:8)

・論文題目
「Usefulness of criteria for intraoperative Management of Postoperative Nausea and Vomiting」
著者　Satoshi Nagase , Masaharu Imaura , Mizuki Nishimura , Kohei Takeda ,
Mari Takahashi, Hideki Taniguchi, Tomoyuki Sato and Hiroshi Kanno
(JPHCS 2022 8:11)

・論文題目
「Effectiveness of pharmacist intervention for deprescribing potentially inappropriate medications : a prospective observational study」

著者　Takeshi Kimura , Misa Fujita, Michiko Shimizu, Kasumi Sumiyoshi, Saho Bansho, Kazuhiro Yamamoto, Tomohiro Omura and Ikuko Yano (JPHCS 2022 8:12)

(4) 2023 年度医療薬学専門薬剤師（正規、暫定）認定申請に係る受験資格の審査結果

花輪理事より、医療薬学専門薬剤師認定委員会における今年度の医療薬学専門薬剤師の正規認定及び暫定認定の両申請に係る書面審査の結果として、①医療薬学専門薬剤師（正規）の新規申請には 45 名より申請があり、全 45 名が専門薬剤師認定試験の受験資格を有すると判定したこと、②医療薬学専門薬剤師(暫定)の新規申請には 19 名より申請があり、全 19 名が同試験の受験資格を有すると判定したことが説明され、協議の結果、了承された。

(5) 2023 年度薬物療法薬学専門薬剤師(新規)認定申請に係る受験資格審査

関根理事より、今年度の薬物療法専門薬剤師の新規認定申請には 26 名より申請があり、薬物療法専門薬剤師認定委員会における書面審査の結果、全 26 名が専門薬剤師認定試験の受験資格を有していると判定したことが説明され、協議の結果、了承された。

(6) 2022 年度医療薬学専門薬剤師・指導薬剤師の更新申請に係る嘆願への対応

花輪理事より、前年度の医療薬学専門薬剤師・指導薬剤師の更新申請を所定の期間内に行わず認定資格が失効した２名より、改めて更新申請の申入れをする嘆願書が提出され、本件の取扱いを医療薬学専門薬剤師認定委員会において協議した結果、当該嘆願を受理すること、続いて更新申請の審査を実施した結果、更新が認められると判断したことが説明された。協議の結果、本嘆願及び審査結果が了承された。

また同理事より、今回のような事例に対応するための取扱いや手続き方法などを検討し、規程等の整備の検討方針が示された。

(7) 医療薬学専門・指導薬剤師、地域薬学ケア専門・指導薬剤師の英語名称

前回の理事会で継続審議とされた医療薬学専門薬剤師・指導薬剤師の英語名称について、花輪理事より改めて医療薬学専門薬剤師認定委員会において審議された名称案が提示され、協議の結果、了承された。

・医療薬学専門薬剤師　英語名称

Board certified Clinical Pharmacist-Scientist (BCCPS-JSPHCS)

・医療薬学指導薬剤師　英語名称

Board certified Senior Clinical Pharmacist-Scientist (BCSCPS-JSPHCS)

続いて、宮﨑理事より地域薬学ケア専門薬剤師認定委員会において審議された名称案が提示され、協議の結果、本案についてはネイティブチェックを受け、その結果を基に再度協議をすることとなった。

(8) 2023 年度調査研究課題（学術小委員会）の新規採択、活動終了

齋藤理事より、2023 年度調査研究課題（学術小委員会）に 12 件の応募があり、医療薬学学術委員会において、研究の意義と医療薬学への貢献度、目標の実現性、計画・体制、これまでの実績等を総合的に評価した結果、規定に従い 3 件の研究課題を採択したいと判断したことが説明され、協議の結果、承認された。

続いて、2020 年学術第 1 小委員会は、本年 3 月をもって研究活動が終了したことが報告

された。なお、新型コロナウイルス感染の影響により初年度の活動開始時期に遅れが生じたことに鑑み、今後、研究成果を医療薬学誌に論文投稿する際の諸費用を、当学会で負担する措置を講ずる主旨の説明があり、本件についても了承された。

(9) 医療薬学学術小委員会による書籍出版

齋藤理事より、2021 年度医療薬学学術第 1 小委員会より、本小委員会の活動をふまえた書籍出版に係る企画書が提出され、医療薬学学術委員会で協議した結果、有用な企画であると判断し、理事会での意見及び広報・出版委員会の協力を得ながら当該企画を進めたいという説明があった。協議の結果、一部の理事から本学会のホームページに掲載し公開する方が広く利用され、有益且つ効果的ではないかという意見があった。また、書籍出版時の問題点として、販売数が計画を下回った際には赤字になる可能性があることや、当該小委員会の活動終了後に改訂作業が生ずることへの対応などに言及する意見があった。協議の結果、まずは動画等の作成や配信を含めて電子媒体で作成し、ホームページ上での情報公開を進めていただくこと、また書籍の出版は必要性が強く感じられた際に改めて検討することとした。なお、他の学術小委員会から類似の提案があった際には、原則として同様に対処することとした。

(10) 日本薬系学会連合への加入、設立総会への参画

奥田監事より、継続して理事会に報告されてきた日本薬系学会連合の設立に係る協議経過について、当該連合の設立主旨や予算案、会則案が整備されたこと、また今後の進め方等を取り決めたことが報告された。その中で、本年 7 月 3 日に本連合の設立総会を開催することが説明された。本学会として当該連合への参加及び設立時の構成メンバーとしての参画が協議され、了承された。なお、本参画に際して、学会ホームページでの公表、総会・年会などを通じて周知を図る方針となった。

(11) 将来計画委員会の編成

議長より、将来計画委員会傘下の学術大会検討小委員会の委員長を石澤理事に、専門薬剤師制度検討小委員会の委員長を寺田副会頭にお願いすることとし、次回の理事会までに若手を中心に組織編成案が提示されることとなった。なお、公益社団法人化検討小委員会及び選挙制度検討小委員会については、中長期的な検討が必要であることから議長自身が委員長を担う方針が伝えられ、協議の結果、承認された。

(12) フレッシャーズ活性化委員会委員の追加委嘱

伊藤理事より、2024 年度開催の第 7 回フレッシャーズ・カンファランスの準備を円滑に進める目的で根岸健一氏をフレッシャーズ活性化委員会の委員として追加委嘱したいことが説明され、協議の結果、承認された。

(13) 薬物療法専門薬剤師認定委員会委員の交代

関根理事より、この３月をもって薬物療法専門薬剤師認定委員会の委員 1 名が退任したため、新たに樋口則英氏を委嘱したいことが説明され、協議の結果、承認された。

(14) がん専門薬剤師研修小委員会委員の交代

池田理事より、この３月をもってがん専門薬剤師研修小委員会の委員 1 名が退任したため、新たに末次王卓氏を委嘱したいことが説明され、協議の結果、承認された。

(15) 広報・出版委員会の再編成

議長より、広報出版委員会の組織編成時に想定していなかった出版図書の改訂作業が生じることとなったため、新たに当該作業を担う組織を編成する方針が説明され、広報・出版委員会に小委員会を設置することが提案された。協議の結果承認され、中村理事より次回の理事会に当該小委員会の編成案が提示されることとなった。

(16) パキロビッドの薬物相互作用マネジメント手引きの改訂

齋藤理事より、学術第４小委員会が策定した「パキロビッドの薬物相互作用マネジメント手引き」について、引用元の NIH の covid-19 治療ガイダンスや新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引きの改訂を受け、同小委員会より本手引きの改訂案（第 1.2 版の案）改訂案が提示されたことが説明された。協議の結果、原則として当該改訂案を了承するが、意見がある場合には 1 週間以内に事務局へ連絡することとされた。

(17) 前年度会費の遡及納入に係る対応（3 件）

宮﨑理事より、2021 年度及び 2022 年度会費遡及に係る 3 件の嘆願についての説明があり、協議の結果、了承された。

(18) 連携研修におけるハラスメント対策

寺田副会頭より、連携研修において研修者が指導薬剤師からハラスメントを受けたという主旨の抗議があったことが報告され、今後、連携研修におけるハラスメント対策を講じる方針等が説明された。協議の結果、当該方針が認められ、今後は専門薬剤師制度運営委員会で検討が進められることとなった。

(19) （意見伺）2024-2025 年度役員候補者選挙の実施計画（案）

富岡理事より 2024-2025 年役員候補者選挙及びその後の選出スケジュール案が示され、概ねの手順やスケジュールは前回と同様であることが確認された。

(20) （意見伺）第 34 回年会の大会テーマ

本間 34 回年会長より、第 34 回年会の大会テーマ案の提示と設定理由が説明された。検討の結果、「未来の医療をデザインする薬学 ・薬剤師 の視点」というテーマをもって今後の準備を進めることとなった。

(21) （意見伺）第 37 回年会の開催日程

富岡理事より、2027 年に開催される第 37 回年会の開催日程について、名古屋国際会議場の利用を前提とした会場確保の都合上、平日を含む 11 月 5 日～7 日での開催日程が提案され、原則として了承された。なお、平日に休暇を取得できる参加者が少ないと想定されるため、できれば三連休での開催を検討していただきたいという主旨の意見があり、当概年会長に伝えることとなった。

(22) （意見伺）第 33 回年会のシンポジウムで取扱う地域薬学ケア専門に対するアンケート調査

宮﨑理事より、地域薬学ケア専門薬剤師の暫定認定者を対象としたアンケート調査の実施計画として、主旨と年会シンポジウムで取り上げることが説明され、協議の結果、実施計画は了承され、アンケートの内容に意見がある場合には 1 週間以内に事務局へ連絡する

こととされた。

(23) （意見伺）医療薬学学術小委員会に係るホームページでの活動紹介・アンケート調査
齋藤理事より、各学術小委員会の活動を広く周知するため、当学会ホームページに活動概要や報告書等の成果情報を掲載する計画が提案され、了承された。
続いて、2022 年学術第 3 小委員会からの要望として、同小委員会が実施するアンケート調査の回答フォームを当学会ホームページ上に設置したい希望を受けていることが説明され、本件も了承された。なお、当該調査の対象が病院所属者になっていることについて、本研究のそもそもの対象に薬局所属者を含めるべきではないかという意見があり、本件を理事会意見として同小委員会に伝達することとなった。

４．報告事項

(1) 理事会メール審議の報告
事務局より、本年 4 月から 5 月に実施された理事会メール審議（3 件）の結果について、改めて報告された。
・2022 年度がん専門薬剤師制度各種認定・再審査結果に関する審議　　：承諾
・2022 年度がん指導薬剤師新規認定・再審査結果に関する審議　　：承諾
・2023 年度がん専門薬剤師新規認定・認定試験受験資格審査に係る審議：承諾

(2) 医療薬学誌の製作費値上要請
事務局より、医療薬学誌の製作費を来年 1 月より値上げしたい要請を受けたことが報告され、本件への受諾が了承された。

(3) 第 33 回年会の準備状況報告
三浦年会長より、第 33 回の年会準備状況として、予定されたスケジュールどおりの進捗であることが報告された。

(4) 2023 年度専門薬剤師認定試験問題の作成に係る報告
石澤理事より、2023 年度専門薬剤師認定試験の作問の完了に係る報告があった。議長より、来年４月に試験問題小委員会が改編されるため、試験問題の作成時期や委員の編成への配慮の要請があった。

(5) 第 89～92 回医療薬学公開シンポジウムの開催日程
伊藤理事より、第 89 回～92 回医療薬学公開シンポジウムの開催日程が説明された。

(6) 第 3 回臨床研究セミナーの実施・収支報告、受講者アンケート
事務局より、第 3 回臨床研究セミナーの実施概要が報告された。

(7) 2023 年度地域薬学ケア専門薬剤師の連携研修マッチングに係る説明会の開催計画
宮﨑理事より、全国の薬剤師会を対象とした「地域薬学ケア専門薬剤師制度のマッチングに係る説明会」を、日本薬剤師会との共催で 6 月 27 日（火）に Web にて開催する予定が報告された。

(8) 第 1 回地域薬学ケア専門薬剤師制度 症例の書き方ワークショップの開催計画

宮﨑理事より、地域薬学ケア専門薬剤師の暫定認定者を対象とした「症例の書き方ワークショップ」を 8 月 27 日（日）に長井記念ホールにて開催する計画が報告された。

(9) 後援依頼への対応（2 件）

議長より、後援依頼が 2 件あり承認したことが報告された。

・第 33 回オンコロジーセミナー（主催：NPO 法人がん医療研修機構）
・第 23 回臨床腫瘍夏季セミナー（主催：東京がん化学療法研究会）

(10) 医療薬学会キャリアパス調査まとめ

安原監事より、医療薬学会退会者を対象として実施した「薬剤師キャリアパスアンケート調査」の調査結果が報告された。

(11) 委員会報告

次の各委員会の開催概要が議事録にて報告された。

・2023 年度第 1 回度第がん専門薬剤師認定委員会
・2023 年度第 1 回国際交流委員会
・2023 年度第 2 回がん専門薬剤師研修小委員会
・2023 年度第 1 回医療薬学学術委員会
・2023 年度第 1 回フレッシャーズ活性化委員会

(12) 専門薬剤師支援システム構築費の一時払い

石澤理事より、システム開発の途中段階で進行度に応じた一時払い費用の請求があった旨とその詳細が報告された。

(13)その他

議長より、日本病院薬学会（本学会の前身学会）の元会長であり本学会の名誉会員である堀了平先生の訃報が伝えられた。

続いて、事務局から各理事に対して次年度の委員会活動計画案及び予算申請書の提出依頼があった。

以上をもって全ての議事の審議及び報告を終了したので、議長は 16 時 47 分に閉会を宣言し、解散した。